

けっとく! ~決算特別委員会~

決算特別委員会とは、杉並区で前の年に使われたお金の動きを確かめ、無駄遣いをしていないか、もっと別なことに使えるのではないかと、来年度予算に向けて必要な工夫は何か、などを議員全員で議論する場です。予算区分を4つの日程に分けて審査します。



私は1日目、3日目に質疑を行いました。主な内容を紹介します。

- 1日目 総括・監査意見 一般会計歳入全部 公債費 諸支出金 予備費
- 2日目 議会費 総務費 生活経済費 職員費
- 3日目 保健福祉費 環境清掃費 介護保険 国民健康保険 後期高齢者医療
- 4日目 都市整備費 教育費

1日目 区民との対話を施策に生かせる柔軟性のある組織を目指してほしい



- 対話の取組と人権施策を同時に進めたことによる効果
- 職員の育成と風通しよく働き続けられる区役所への道のり
- 杉並区は住み続けたい自治体として選ばれる行財政運営をできるか

昨年度は定額減税もあり税収の減少を予測したが、特別区民税は3億4千万円増えている。企業収益が上がり区民の所得が上がったという話もあるが、状況は?

課税課長 納税義務者1人当たりの額は全体として26億円の減だが、子どもや非課税世帯も含めた区民一人当たりの額は横ばいないし微増。

令和5年1月から令和6年1月までに2057人、人口が増加している。住民税の均等割・所得割世帯も増加傾向にあるが、全体として税収が上がっていることを踏まえると、人口増によって税収増が見込まれると考えられる。杉並区に転入してきて様々な支援を受けて生活を立て直し、商店街や杉並に根付く文化芸術に触れて文化的な営みの中で幸せを感じられる人が増えていくような、かつての「稼げる自治体」とは違った「住民に選ばれる自治体」としての運営を考えているか。

財政課長 「みどり豊かな住まいのみやこ」を掲げる杉並区では、住宅都市としての価値を高め、住み続けたいと思ってもらえる自治体を目指している。

3日目 予算の中でもっとも配分の多い福祉・保健分野の中身の充実度



- 産後ケアのアウトリーチ型を子育て応援券ではなく通常の事業にできないか
- 福祉職・保健師のジョブローテーションとキャリア形成
- 女性の健康と緊急避妊薬の市販化
- 民間福祉施設の人員確保

区の取組として民間事業者の人員確保のために行った事業は?

保育施設担当課長 保育のお仕事相談会、パンフレット作製、研修、園見学ツアー、宿舍借上げ制度補助金、資格取得支援補助金

介護保険課長 介護のお仕事相談会、研修、研修補助金、ケアマネ助成金、精神保健支援

障害者施設支援課長 障害福祉のお仕事紹介・相談会、大学生の施設見学、ソーシャルワーク支援

すきまバイトアプリで、杉並区内の放課後等デイサービス、認知症グループホーム、私立認可保育所の求人を発見した。人手が足りずその日を何とかやりくりしている事業所の実態把握をしているか。

障害者施策課長 放デイについて、すきまバイトで働いた方から問い合わせをいただいたことはあるが、実態調査はしていない。

保育施設担当課長 子ども家庭庁から通知は来ているが、実態調査は実施していない。

介護保険課長 実態把握はしていないが、多様な働き方を保障することで人材を獲得し、介護の質を担保している。

福祉の現場は従事者と利用者との権力勾配が生まれやすいため、専門性と信頼関係の構築が必須。人権保障を前提とした環境整備のために実態調査をしてほしい。

秋は、昨年度の決算審査と来年度の予算要望



第三回定例会では毎年、通常の議会にプラスして決算特別委員会が行われています。これまで2回は自分の得意分野を中心に決算審査をしてきましたが、2年半で区政全体を知る機会も多く得ているので、今回は財政についても質疑を行いました。杉並区は以前から経常収支比率(全体の費用に対して、人件費や光熱費など必ず払う経費の割合)が東京都の平均より高く、新しいことにチャレンジできるような財政の柔軟性が少ないため、細かく確認を行なっています。

立憲民主党杉並区議団としての予算要望は、9月19日に要望書を提出、9月26日に区長との懇談を行いました。私からは「人と人がつながる区政」についてお伝えし、区が企画する対話の取組の継続、拠点としての区立施設の充実、部署横断による福祉施策の連携、などを要望しました。



区長室にて、会派の予算要望を区長に手渡し

今回お届けするのは、

- 01 一般質問
- 02 保健福祉委員会
- 03 けっとく!
- 04 お知らせ



最新情報はコチラ <https://teraharu.com/>

一般質問について詳しく

委員長になりました

文化芸術・スポーツ・まちのにぎわいに関する特別委員会の委員長が所属する会派が分裂して交渉会派(4人以上の議員がいる会派)ではなくなったため、議会運営に携われないということで委員長が辞任。ご指名があり、今年度の残りの期間、私が委員長をすることに。杉並区が文化的に豊かな環境を大事にできるよう、公正で前向きな議論の場をつくるために頑張ります!

戦後80年事業の映像が公開されました

杉並区戦後80年事業として、杉並区在住の被爆者と区内中学生との対談、被爆体験の証言が映像記録され、公開されました。過酷な体験談を受け継ぎ、歴史に学び、二度と同じ過ちを繰り返さない。差別と戦争に抗って平和をつくっていく私たちの今が、とても大切です。



区政報告会のお知らせ

レポートには書ききれないこともお話しするとともに、みなさんの暮らしや望むことについてお聞きする機会でもあります。ぜひお気軽にお越しください!

11月4日(火) 19:00~21:00

@久我山会館 第1集会室
〒168-0082 東京都杉並区久我山3丁目23-20

11月8日(土) 16:15~18:15

@高井戸地域区民センター 第1集会室
〒168-0072 東京都杉並区高井戸東3丁目7-5



各回定員 20名
ご予約はこちら

寺田陽香

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
区議会事務局内 立憲民主党杉並区議団控室

▶1987年生まれ▶群馬県高崎市出身▶高崎女子高校卒業▶国際基督教大学(ICU)中退▶音楽(ドラム、打楽器、ギター、歌)保育士▶好き:スケボー、お茶、茨木のり子▶3.11を機に、子どもたちにどんな未来を渡したいか、自分の大人としての責任を考え始め、市民運動に参画▶2023年4月、3,906票を託され初当選

☎070-1385-3043

✉teraharu.minnanomachi@gmail.com



一般質問

区内に44か所ある園庭のない認可保育所のうち、7か所を訪問して伺った現場の声をもとに、保育の質と子どもの育ちを支える環境整備について聞きました。

Q.1

現場の保育者と運営法人本部との間で、重視する事柄にズレを感じることがある。法人本部と現場との認識をすり合わせるため、区として保育の質向上に向けて行っている具体的な取り組みは？

A

区は、区立園の園長経験者や心理専門職が園を訪問し、園に寄り添った指導・助言を実施。聞き取りに応じ法人本部へ状況確認や是正を促しています。また、人件費比率の調査研究に基づき事業者ヒアリングを実施し、運営費が保育士等の処遇改善に確実に使われるよう直接要請しています。

Q.2

2000年以降の国の規制緩和後に園庭のない保育園が増加した。区が標榜する「保育の質」に対して、園庭のない保育園が抱える課題をどう認識しているか？

A

保育の質は、物的環境、保育内容、保育士の資質等を含む総合的な視点で判断します。園庭のない園では、代替遊戯場等で屋外活動をいかに創意工夫して行なうか、地域との接点を増やし、いかに保育の幅を広げることが課題であると認識しています。

Q.3

猛暑日の増加など気候変動の中で保育をしなければならぬ。子どもの育ちを支えるために計画される保育の内容に、どのような影響があると認識しているか。

A

厳しい暑さにより、プール遊びや遠足などの屋外活動の短縮や中止が余儀なくされています。子どもの体力や集中力の低下、野外活動の制限に伴うストレス増加に留意し、園内でリラックスできる環境設定や室内活動の工夫を行っています。

Q.4

中核園の取り組みは対症療法に過ぎないという懸念がある。詳細な実態把握の障壁と、私立園からの提案で実現した取り組みを伺う。

A

中核園の取組には、施設の職員体制等により参加できない施設もあり、実態や課題の詳細な把握が十分にはできていません。私立保育園等からの提案を受け、防災課と協力し、震災や地域の水害対応をテーマにしたグループ討議が実現するなど、各地域での将来的な課題検討の場となっています。

Q.5

子どもの権利を軸とし、子ども家庭部内の縦割りを解消した「子どもを真ん中に協力し合う大人の姿」が見える連携の体系化を求めるが、区の見解は？

A

区の施策は子どもの権利に関する条例の基本理念の下で実施。子ども家庭計画の改定作業が条例制定前であったため、権利の理念が施策に徹底することを十分に示せていない面があります。今後の計画改定等の際には、各取組が条例の理念の下で実施されることをわかりやすく示せるよう検討していきます。



すべての質問の様子は動画で！

条例に賛成しました！

社会的養護経験者の自立を応援する基金ができました！

杉並区には23区内で最多の、5つの児童養護施設があります。児童福祉法の改正により昨年4月から、より柔軟に子どもが自分のタイミングで自立に向かえるようになりました。杉並区では昨年4月から、ふるさと納税のメニューで支援事業を開始していましたが、改めて基金を設置します。今後はふるさと納税のメニューからも、基金に直接寄付という形でも、応援できるようになります。

児童養護施設退所者等自立応援基金条例のポイント

今までは… 昨年度末、3月で退所となる人が予定より少なく、302万円あった寄付のうち114万円を利用。残りの188万円は次年度に繰越されて別事業で使われることになってしまった。

→ 寄付した人の思いをそのまま積み立てて、次の年も使うことができるように！

今までは… 児童養護施設や里親からの自立後、最初は応援してもらえても、その後継続的なつながりが持てず孤独になってしまう人が多い。

→ 相談や交流ができる拠点の設置など、サポートメニューの拡充に使える！

行政視察に行きました！

10月16日 @ 愛知県東海市 ほっとプラザ『ひきこもり支援』

杉並区では今年8月から、ひきこもり相談窓口「ゆるりと杉並」がオープンしました。これまで就労相談がメインだった支援を見直し、当事者や家族の思いを大事に聴いて一緒にその先を考えるために、20年以上の経験を持つ先進的な取り組みを学ぶことができました。



10月17日 @ 広島県広島市 児童相談所／アフターケアひかり 『社会的養護自立支援拠点・里親支援』

来年11月の杉並区立児童相談所開設に向け、里親へのサポート体制や巣立っていく子ども・若者を応援する仕組みを学ぶことができました。広島市児童相談所は療育や教育相談もできる総合的な相談・支援の施設として複合化されており、戦後から広島で児童福祉を担ってきた社会福祉法人と連携しながら事業を進めています。



その他…

児童相談所の設置準備、保育園の入園に関する指数の変更、ドッグランの利用時間変更、放課後等居場所事業の拡充

なども報告されています。詳細を知りたい方はぜひつらだはるかにご連絡ください！

新しい健康アプリ「なみチャレ」がSTART！

- 街を歩いた歩数に応じて、区のイベントに参加して、ポイントを貯めて電子マネーに変換できます
- 高齢者スマホ購入助成とも連動しています



区立障害者交流館の清掃業務における法令違反？

障害者団体連合会が請け負っていた清掃業務が、「訓練就労」なのか「一般就労」なのか書面上で判断がつきにくく、労基署から雇用環境についての是正勧告が団体に行われました。団体としては、B型作業所などの制度や施設が整う以前から、地域共生を念頭に、訓練就労として行っていたものです。違反ではありませんが、教育・雇用・福祉について議論を深める機会となりました。

特別区区民葬儀の助成制度がつくれます

特別区区民葬儀とは、民間の事業者の協力のもと「祭壇」「霊柩車」「火葬」の3区分で区が発行するチケットを使い、低廉な価格で葬儀が行えるものです。今回は23区内で6か所火葬場を運営する東京博善株式会社から今年度末で区民葬儀から離脱することを表明したため、23区共通で助成制度を設け、区民に対し補助を行うことになりました。

区立保育園がアップデート！！

民営化方針を見直し、27の区立園を保つ方針に転換してから2年。『保育の質』をキーワードにして、区立・私立や施設規模にかかわらず、区内すべての保育所の連携を強化するアップデートです。

アップデートの内容は？

- 1 中核園が10園から27園になり、より身近に相談可能に！
- 2 訪問看護との連携で医療的ケア児の受け入れを拡充！
- 3 誰でも通園制度を19園で実施！
- 4 災害時の連携を地域ごとに強化！

保育の質、災害時の保育、中核園の取組や誰でも通園の懸念点など、2年半ずっと質疑してきたことが施策の変更につながった部分もあります。アップデートは段階的に行われていきますが、子どもも働く保育者も預ける保護者も、目まぐるしい変化ばかりでは落ち着きません。委員会の中では、穏やかな保育と安心できる環境を大事にしながら進めてほしいことを強く要望しました。

保健福祉委員会

成立した条例や行政視察など、さまざまなトピックをご報告！





よくかんで、よくたべる!

秋は、昨年度の決算審査と来年度の予算要望



第三回定例会では毎年、通常の議会にプラスして決算特別委員会が行われています。これまで2回は自分の得意分野を中心に決算審査をしてきましたが、2年半で区政全体を知る機会も多く得ているので、今回は財政についても質疑を行いました。杉並区は以前から経常収支比率（全体の費用に対して、人件費や光熱費など必ず払う経費の割合）が東京都の平均より高く、新しいことにチャレンジできるような財政の柔軟性が少ないため、細かく確認を行なっています。

立憲民主党杉並区議団としての予算要望は、9月19日に要望書を提出、9月26日に区長との懇談を行いました。私からは「人と人がつながる区政」についてお伝えし、区が企画する対話の取組の継続、拠点としての区立施設の充実、部署横断による福祉施策の連携、などを要望しました。



区長室にて、会派の予算要望を区長に手渡し

今回お届けするのは、

01 一般質問

02 保健福祉委員会

03 けっとく!

↳ 決算特別委員会

04 お知らせ

区政報告会



最新情報はコチラ

<https://teraharu.com/>

◀ 一般質問について詳しく

一般質問

区内に44か所ある園庭のない認可保育所のうち、7か所を訪問して伺った現場の声をもとに、保育の質と子どもの育ちを支える環境整備について聞きました。

Q.1

現場の保育者と運営法人本部との間で、重視する事柄にズレを感じることがある。法人本部と現場との認識をすり合わせるため、区として保育の質向上に向けて行っている具体的な取り組みは？

A

区は、区立園の園長経験者や心理専門職が園を訪問し、園に寄り添った指導・助言を実施。聞き取りに応じ法人本部へ状況確認や是正を促しています。また、人件費比率の調査研究に基づき事業者ヒアリングを実施し、運営費が保育士等の処遇改善に確実に使われるよう直接要請しています。

Q.2

2000年以降の国の規制緩和後に園庭のない保育園が増加した。区が標榜する「保育の質」に対して、園庭のない保育園が抱える課題をどう認識しているか？

A

保育の質は、物的環境、保育内容、保育士の資質等を含む総合的な視点で判断します。園庭のない園では、代替遊戯場等で屋外活動をいかに創意工夫して行なうか、地域との接点を増やし、いかに保育の幅を広げることが課題であると認識しています。

Q.3

猛暑日の増加など気候変動の中で保育をしなければならぬ。子どもの育ちを支えるために計画される保育の内容に、どのような影響があると認識しているか。

A

厳しい暑さにより、プール遊びや遠足などの屋外活動の短縮や中止が余儀なくされています。子どもの体力や集中力の低下、野外活動の制限に伴うストレス増加に留意し、園内でリラックスできる環境設定や室内活動の工夫を行っています。

Q.4

中核園の取り組みは対症療法に過ぎないという懸念がある。詳細な実態把握の障壁と、私立園からの提案で実現した取り組みを伺う。

A

中核園の取組には、施設の職員体制等により参加できない施設もあり、実態や課題の詳細な把握が十分にはできていません。私立保育園等からの提案を受け、防災課と協力し、震災や地域の水害対応をテーマにしたグループ討議が実現するなど、各地域での将来的な課題検討の場となっています。

Q.5

子どもの権利を軸とし、子ども家庭部内の縦割りを解消した「子どもを真ん中に協力し合う大人の姿」が見える連携の体系化を求めるが、区の見解は？

A

区の施策は子どもの権利に関する条例の基本理念の下で実施。子ども家庭計画の改定作業が条例制定前であったため、権利の理念が施策に徹底することを十分に示せていない面があります。今後の計画改定等の際には、各取組が条例の理念の下で実施されることをわかりやすく示せるよう検討していきます。



◀すべての質問の様子は動画で！

条例に賛成しました！

社会的養護経験者の自立を応援する基金ができました！

杉並区には23区内で最多の、5つの児童養護施設があります。児童福祉法の改正により昨年4月から、より柔軟に子どもが自分のタイミングで自立に向かえるようになりました。杉並区では昨年4月から、ふるさと納税のメニューで支援事業を開始していましたが、改めて基金を設置します。今後はふるさと納税のメニューからも、基金に直接寄付という形でも、応援できるようになります。

児童養護施設退所者等自立応援基金条例のポイント

今までは… 昨年度末、3月で退所となる人が予定より少なく、302万円あった寄付のうち114万円を利用。残りの188万円は次年度に繰越されて別事業で使われることになってしまった。

→ 寄付した人の思いをそのまま積み立てて、次の年も使うことができるように！

今までは… 児童養護施設や里親からの自立後、最初は応援してもらえても、その後継続的なつながりが持てず孤独になってしまう人が多い。

→ 相談や交流ができる拠点の設置など、サポートメニューの拡充に使える！

行政視察に行きました！

10月16日 @ 愛知県東海市 ほっとプラザ『ひきこもり支援』

杉並区では今年8月から、ひきこもり相談窓口「ゆるりと杉並」がオープンしました。これまで就労相談がメインだった支援を見直し、当事者や家族の思いを大事に聴いて一緒にその先を考えるために、20年以上の経験を持つ先進的な取り組みを学ぶことができました。



10月17日 @ 広島県広島市 児童相談所／アフターケアひかり 『社会的養護自立支援拠点・里親支援』

来年11月の杉並区立児童相談所開設に向け、里親へのサポート体制や巣立っていく子ども・若者を応援する仕組みを学ぶことができました。広島市児童相談所は療育や教育相談もできる総合的な相談・支援の施設として複合化されており、戦後から広島で児童福祉を担ってきた社会福祉法人と連携しながら事業を進めています。



その他…

児童相談所の設置準備、保育園の入園に関する指数の変更、ドッグランの利用時間変更、放課後等居場所事業の拡充

なども報告されています。詳細を知りたい方はぜひつらだはるかにご連絡ください！

新しい健康アプリ「なみチャレ」がSTART！

- ・ 街を歩いた歩数に応じて、区のイベントに参加して、ポイントを貯めて電子マネーに変換できます
- ・ 高齢者スマホ購入助成とも連動しています



区立障害者交流館の清掃業務における法令違反？

障害者団体連合会が請け負っていた清掃業務が、「訓練就労」なのか「一般就労」なのか書面上で判断がつきにくく、労基署から雇用環境についての是正勧告が団体に行われました。団体としては、B型作業所などの制度や施設が整う以前から、地域共生を念頭に、訓練就労として行っていたものです。違反ではありませんが、教育・雇用・福祉について議論を深める機会となりました。

特別区区民葬儀の助成制度がつくれます

特別区区民葬儀とは、民間の事業者の協力のもと「祭壇」「霊柩車」「火葬」の3区分で区が発行するチケットを使い、低廉な価格で葬儀が行えるものです。

今回は23区内で6か所火葬場を運営する東京博善株式会社から今年度末で区民葬儀から離脱することを表明したため、23区共通で助成制度を設け、区民に対し補助を行うことになりました。

区立保育園がアップデート！！

民営化方針を見直し、27の区立園を保つ方針に転換してから2年。『保育の質』をキーワードにして、区立・私立や施設規模にかかわらず、区内すべての保育所の連携を強化するアップデートです。

アップデートの内容は？

- 1 中核園が10園から27園になり、より身近に相談可能に！
- 2 訪問看護との連携で医療的ケア児の受け入れを拡充！
- 3 誰でも通園制度を19園で実施！
- 4 災害時の連携を地域ごとに強化！

保育の質、災害時の保育、中核園の取組や誰でも通園の懸念点など、2年半ずっと質疑してきたことが施策の変更につながった部分もあります。アップデートは段階的に行われていきますが、子どもも働く保育者も預ける保護者も、目まぐるしい変化ばかりでは落ち着きません。委員会の中では、穏やかな保育と安心できる環境を大事にしながら進めてほしいことを強く要望しました。

保健福祉委員会

成立した条例や行政視察など、さまざまなトピックをご報告！



けっとく！～決算特別委員会～

決算特別委員会とは、杉並区で前の年に使われたお金の動きを確かめ、無駄遣いをしていないか、もっと別なことに使えるのではないかと、来年度予算に向けて必要な工夫は何か、などを議員全員で議論する場です。予算区分を4つの日程に分けて審査します。

私は1日目、3日目に質疑を行いました。主な内容を紹介します。

1日目 総括・監査意見 一般会計歳入全部 公債費 諸支出金 予備費

2日目 議会費 総務費 生活経済費 職員費

3日目 保健福祉費 環境清掃費 介護保険 国民健康保険 後期高齢者医療

4日目 都市整備費 教育費



1日目 区民との対話を施策に生かせる柔軟性のある組織を目指してほしい



質疑の動画

- 対話の取組と人権施策を同時に進めたことによる効果
- 職員の育成と風通しよく働き続けられる区役所への道のり
- 杉並区は住み続けたい自治体として選ばれる行財政運営をできるか

昨年度は定額減税もあり税収の減少を予測したが、特別区民税は3億4千万円増えている。企業収益が上がり区民の所得が上がったという話もあるが、状況は？

課税課長 納税義務者1人当たりの額は全体として26億円の減だが、子どもや非課税世帯も含めた区民一人当たりの額は横ばいないし微増。

令和5年1月から令和6年1月までに2057人、人口が増加している。住民税の均等割・所得割世帯も増加傾向にあるが、全体として税収が上がっていることを踏まえると、人口増によって税収増が見込まれると考えられる。杉並区に転入してきて様々な支援を受けて生活を立て直し、商店街や杉並に根付く文化芸術に触れて文化的な営みの中で幸せを感じられる人が増えていくような、かつての「稼げる自治体」とは違った「住民に選ばれる自治体」としての運営を考えているか。

財政課長 「みどり豊かな住まいのみやこ」を掲げる杉並区では、住宅都市としての価値を高め、住み続けたいと思ってもらえる自治体を目指している。

3日目 予算の中でもっとも配分の多い福祉・保健分野の中身の充実度



質疑の動画

- 産後ケアのアウトリーチ型を子育て応援券ではなく通常の事業にできないか
- 福祉職・保健師のジョブローテーションとキャリア形成
- 女性の健康と緊急避妊薬の市販化
- 民間福祉施設の人員確保

区の取組として民間事業者の人員確保のために行った事業は？

保育施設担当課長 保育のお仕事相談会、パンフレット作製、研修、園見学ツアー、宿舍借り上げ制度補助金、資格取得支援補助金

介護保険課長 介護のお仕事相談会、研修、研修補助金、ケアマネ助成金、精神保健支援

障害者施設支援課長 障害福祉のお仕事紹介・相談会、大学生の施設見学、ソーシャルワーク支援

すきまバイトアプリで、杉並区内の放課後等デイサービス、認知症グループホーム、私立認可保育所の求人を発見した。人手が足りずその日を何とかやりくりしている事業所の実態把握をしているか。

障害者施策課長 放デイについて、すきまバイトで働いた方から問い合わせをいただいたことはあるが、実態調査はしていない。

保育施設担当課長 こども家庭庁から通知は来ているが、実態調査は実施していない。

介護保険課長 実態把握はしていないが、多様な働き方を保障することで人材を獲得し、介護の質を担保している。

福祉の現場は従事者と利用者との権力勾配が生まれやすいため、専門性と信頼関係の構築が必須。人権保障を前提とした環境整備のために実態調査をしてほしい。



委員長になりました

文化芸術・スポーツ・まちのにぎわいに関する特別委員会の委員長が所属する会派が分裂して交渉会派（4人以上の議員がいる会派）ではなくなったため、議会運営に携われないということで委員長が辞任。ご指名があり、今年度の残りの期間、私が委員長をすることに。杉並区が文化的に豊かな環境を大事にできるよう、公正で前向きな議論の場をつくるために頑張ります！

戦後 80 年事業の映像が公開されました

杉並区戦後 80 年事業として、杉並区在住の被爆者と区内中学生との対談、被爆体験の証言が映像記録され、公開されました。過酷な体験談を受け継ぎ、歴史に学び、二度と同じ過ちを繰り返さない。差別と戦争に抗って平和をつくっていく私たちの今が、とても大切です。



▼詳しく▼

区政報告会のお知らせ

レポートには書ききれないこともお話しするとともに、みなさんの暮らしや望むことについてお聞きする機会でもあります。ぜひお気軽にお越しください！

11月4日(火) 19:00 ~ 21:00

@久我山会館 第1集会室

〒168-0082 東京都杉並区久我山 3丁目 23-20

11月8日(土) 16:15 ~ 18:15

@高井戸地域区民センター 第1集会室

〒168-0072 東京都杉並区高井戸東 3丁目 7-5



各回定員 20 名

◀ご予約はこちら

寺田陽香

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1

てらだはるか

区議会事務局内 立憲民主党杉並区議団控室

▶1987年生まれ ▶群馬県高崎市出身 ▶高崎女子高校卒業
▶国際基督教大学(ICU)中退 ▶音楽(ドラム、打楽器、ギター、歌)
保育士 ▶好き:スケボー、お茶、茨木のり子 ▶3.11を機に、子どもたちにどんな未来を渡したいか、自分の大人としての責任を考え始め、市民運動に参画 ▶2023年4月、3,906票を託され初当選

☎070-1385-3043

✉teraharu.minnanomachi@gmail.com

REPORT

